

令和8年度 北九州市立くきのうみ小学校 学校経営方針

<学校教育目標>

思いやりの心を持ち、かしこく、たくましい子どもの育成

<めざす学校像>

『信頼される学校』

- 一人一人が生き生きと輝く、活気のある学校
- 全ての子どもが「学校が好き」と言える学校
- 保護者や地域と連携したあたたかい学校

<めざす子ども像>

- ◎ にこにこ (徳) 「心豊かな子ども」
思いやりがあり、仲よく助け合う子ども
- ◎ いきいき (知) 「進んで学ぶ子ども」
ねばり強く考え、自ら学ぶ子ども
- ◎ もりもり (体) 「たくましい子ども」
元気で明るく、進んで活動する子ども

<めざす教師像>

『信頼される教師』

- 豊かな人間性とあたたかな愛情をもった教師
- 自己研鑽に努め、学び続ける教師
- 互いを信頼し、協調・協力・協働する教師

<本年度のキーワード> 『いつもを知って違いに気付こう』

- くきのうみ小学校“いつも”の共有と徹底→お互い声をかけあって確認、疑問は声に出そう
- 子どもの力は学校でつける→「いつもと違う」子ども・状況に気付き、声かけと相談を！

1. 豊かな心を育む

仲間意識を高める取組の充実

- ① 好ましい人間関係づくり
「思いやりの心」「あいさつ励行」
- ② 特別活動と道徳科の充実
あたたかい声かけを職員から
- ★ 仲よく、あたたかい集団づくり

2. 確かな学力の向上を図る

授業改善の取組を学力向上につなげる

- ① 学力向上 (授業改善・AIドリル活用)
- ② 読書活動の充実 (日常的に本に親しむ)
- ③ 専科授業の充実
- ④ 学習習慣の形成 (自分で学ぶ力を)
- ★ 子どもの力は学校でつける

3. すこやかな体を育む

運動好きで健康な子どもの育成

- ① 子どもが楽しみながら学ぶ授業づくり
+体力向上の取組 (朝ヨガ)
- ② 健康的な生活習慣の確立
- ③ 食育の充実 (給食は教材)
- ★ 健康的で安全・安心な学校生活

4. 特別支援教育の推進

一人一人の教育的ニーズに応える

- ① 個別の配慮、環境や授業の充実
- ② 交流活動等を通じた相互理解の促進
- ③ 全職員が児童理解に努める
+積極的な特別支援教育
- ★ 教育環境と支援体制の充実

5. 積極的な生徒指導

すべての子どもをすべての職員が指導する 安全・安心な学校づくり

- ① 組織的に：危機管理の「さ・し・す・せ・そ」、一人で抱え込まない、一つ上の対応、保護者・地域と連携、全職員の意識をそろえ情報を共有する
- ② きめ細か：日常の関わり、心のアンケートと面談、連続欠席時の家庭訪問、関係機関と連携、保護者との連絡、登校しぶり等への対応
- ★ くきのうみ小学校の“いつも”を共有・徹底→「違いに気付き声かけを！」

6. 教育公務員としての使命感と自覚

弱音を吐ける職員室

- ① 業務改善：日々の業務の効率化、定時退校日実践、自己管理意識向上
- ② 綱紀粛正：不祥事防止の徹底 (自分のヒヤリハット、失敗を話すことで日ごろから研修) 来校者や電話対応をていねいに
- ③ 自己研鑽：キャリアステージの意識、指導力・対応力の向上、人権感覚の醸成
- ★ 「チームくきのうみ」信頼関係を基盤に日ごろ研修で高め合おう